



《表紙の風景》
インターパーク宇都宮南
(栃木県宇都宮市・上三川町)
北関東最大の都市 宇都宮の南の玄関口に位置する一大ショッピングエリアです。幹線道路沿いに多彩な施設が集積する「ときめきが集う街」とくに屋外型の専門店モール、インターパークショッピングビレッジは最新のファッション感覚で人気を集めています。

編集後記

今号は、当機構がかねてから有力民間企業と協働して展開してきました都市における商業機能、生活サービス機能の創出事業に焦点をあて特集としました。

少子高齢社会の進展、はじまった都市の中心市街地の活性化政策などによる社会環境の変貌に直面して、大型店などの存立基盤は激しい地殻変動に見舞われています。いち早くこれに対処して、市民のニーズの把握、店舗の立地選定、物販機能に相対する情報とサービス機能の充実など、先駆的な事業展開が見られるようになりました。

市民生活に最も密着したこれらの事業に対して、UR都市機構が掲げている理念と業績、今後さらに果たすべき役割を、改めてみなさまにご理解いただければ幸いです。

なお、前号の初刷版において一部不適切な写真を掲載し、関係先にご迷惑をおかけしました。誌上をかりて深くお詫びいたします。

季刊「ユアールプレス・夏号」
Vol.12(2007年7月)
発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー Tel.045-650-0881
Fax.045-650-0889
編集・制作(株)日本経済社
(株)リアソシエーツ
印刷 光写真印刷(株)

平成19年版 環境報告書を作成しました。

地球温暖化は、都市化の進展や人々のライフスタイルの変化と密接に関係し、私たちの日々の暮らしが、そのまま地球規模での環境に直結している問題で、ローカルな居住関係とグローバルな地球環境の双方を同時に考えながら解決していく必要があります。

平成19年版の環境報告書では、CO₂排出量の削減に重点をおいた「UR都市機構の地球温暖化対策」について特集しており、地球温暖化を抑制するためより一層の取り組みを進め、地球にやさしいまちづくり、人にやさしい住まいづくりで、世代を超えて継承できる環境をプロデュースしていきたいと考えています。

環境報告書は、UR都市機構の幅広い業務と環境との関わりを皆様にご覧いただけるようにお伝えすることを意図して作成・公表しているものです。ぜひご一読いただければ幸いです。

環境報告書は、
<http://www.ur-net.go.jp/e-report/>
でご覧いただけます。



平成18年度独立行政法人都市再生機構の 役職員の報酬・給与等について

当機構の役員の報酬及び職員の給与の水準に関する情報について、国民の皆様に分かりやすくお知らせするため、平成15年9月に総務省においてとりまとめた「独立行政法人の役員の報酬等及び職員の給与の水準の公表方法等について(ガイドライン)」に基づき、当機構のホームページに掲載しております。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.ur-net.go.jp/jkoukai/hoshusuijun>

沖縄美ら海水族館が映画の舞台になりました

当機構が管理する、国営沖縄記念公園の沖縄美ら海水族館を舞台にした映画「ドルフィンブルー フジ、もういちど(そらへ)」が制作されました。詳しくはホームページをご覧ください。



沖縄美ら海水族館 <http://www.kaiyuhaku.com/>

平成19年度 都市住宅技術研究所 特別公開

都市住宅技術研究所(東京都八王子市)では、5月25日(金)・26日(土)の両日、特別公開を実施しました。第二会場の清瀬旭が丘実験住棟(東京都清瀬市)のリニューアル実験モデルのうち、反響がありました3タイプをご紹介します。

Reco (Renewal × Ecology)

環境へ配慮したリサイクル材などを使用し、内装をリニューアルした住戸です。コンセプトは次の3つです。

- リノベーションに伴う廃棄物を極力減らすとともに古い材料をリユースします。
- リノベーションに使用する材料は化学物質の少ない自然系の素材を選び、エコ＆健康の住宅とします。
- 味わいのある古い木部を活かし、しかも生石灰塗壁とすることで、新しいレトロ感覚のインテリアにします。



S40's Model

RF住宅

昭和40年代の実物建物(標準設計「65-5N-3K-3」型)を対象にし、S I(スケルトン・インフィル)の技術等を応用して、プランの自由度の拡大、アメニティの向上、生活シーンに応じた可変性の確保、基本性能の向上をテーマに開発したデザイナーズ・リノベーション住戸です。コンセプトは次の4つです。

- Re Form**
ファミリータイプから小世帯向けにリフォームし、生活シーンの変化を意識した設計で、居住期間の延長を図る。
- Re Fine**
洗練された空間を創出し、新しい生活価値を提供する。
- Re Fresh**
画一的なものを新鮮にすることで、まちをいきいきさせる。
- Re Ference**
本格化するストック再生に対応して、実物大での技術を提案する。



RFのインテリアデザインは、若手建築家・田邊孝浩氏を招き、リノベーション技術の集約と呼応する価値の高い居住空間を提案している。

低床化住宅

1階住宅の特性を活かし低床化することで、アクセスのしやすさと屋外空間との連続性を確保し、また高い天井のワンルームによって開放感の増大などを図った住戸です。コンセプトは次の4つです。

- 接地性の活用** - ダイレクトアクセスの実施
屋外空間との連続性の確保
- 新郊外生活スタイル提案** - コミュニティや周辺環境との親和性の創出
屋外テラス・ポーチの設置
- 空間の魅力向上** - 低床化と高天井そしてワンルームによる開放感実現
インテリアデザインの可能性の拡大
- 街のにぎわいと街並み形成** - アクセス空間による活性化
まちのにぎわいの創出
まちなみ形成への貢献

